

令和7年度第3回学校運営協議会 議事録

校 名	府立枚方津田高等学校
校長名	吉武 進

開催日時	令和8年2月6日（金） 15:30 ～
開催場所	大阪府立枚方津田高等学校 2階校長室
委 員	久保田 豊司 委員 西村 孝彦 委員 田中 博 委員（欠） 須藤 英哉 委員 原田 鉄士 委員（欠） 坂東 さとみ 委員
学 校	校長 吉武 進 教頭 谷 明道 事務長 石川 浩史 首席 佐藤 正弘（欠） 首席 橘 守亮 教諭 荒野 博司 教諭 宇賀神 充利 教諭 江西 真弓
傍聴者	無し
協議資料	令和7年度学校経営計画の進捗状況
備 考	

議題等（次第順）
次第・内容 1 開会 2 校長挨拶 3 報告 （1）38期生進路状況 （2）遅刻統計 4 協議 （1）令和7年度学校評価 （2）令和8年度学校経営計画 5 諸連絡 6 校長「閉会」の挨拶
協議内容・承認事項等（意見の概要）
次第・内容 1 開会 2 校長挨拶 3 報告 （1）38期生進路状況…年内入試についての報告（大学 短大 専門）例年と大きな数字の変化なし。指定校推薦は減少傾向（54名）逆に、総合型選抜での合格実績が増加。特に摂南大学での増加が顕著。自己のアピール（小論文や面接）が今後も重要になってくる。校内での指導体制が充実していたことが一因と言える。（宇賀神） 質問 進学率について（須藤委員） 回答 4年制大学が50%強（進学全体は90%を超える） ※公務員合計で9名 （2）遅刻統計…960件以下の目標は達成できず。体調不良による遅刻の生徒への指導が課題。各家庭との連携を密にし、対応していく。次年度の課題（荒野） 質問 遅刻について 様々な特性を持った生徒も増えていると思うが、そのあたりの指導について（坂東委員） 回答 個別事情を考慮しながら対応している。（件数として計上していない）

4 協議

(1) 令和7年度学校評価

校長より自己評価欄の説明（※空白は年度末に確定する数値）

- P 3 1 (2) ア 「1・2年生の自主学習」概ね目標達成
イ 各種検定の申込者数増 簡易型試験体験（500 円英検）が寄与
(3) ア 卒業後の進路選択満足度
イ 進路説明会の回数 1 年次から進路意識を高めるのが目的
P 4 2 (3) ア 「誰に対してもあいさつ」94%
ウ 韓国の高校生の来校交流が実現（相互の言語交流）
P 4 3 (2) ア 教職員の健康リスクに関する数値が前年度より改善した

質問（須藤委員）

- P 4 2 (3) ウ オンライン交流について 来校交流に至るまでの過程は？
⇒主に教頭からその経緯について説明
国際交流については◎といえるのでは？（西村委員）
P 3 1 (3) イ キャリア（進路）説明についての偏りを感じた（坂東委員）
P 4 2 (3) ア 「誰に対してもあいさつ」94%
あいさつについても◎といえるのでは？（西村委員）

(2) 令和8年度学校経営計画

校長より説明

P 1 の「めざす学校像」と「中期的目標」についての承認を得る

- 1 (1) イ 「学力を伸ばす～高い学力伸長」について
ウ 海外姉妹校締結（ニュージーランド）
2 (1) イ 教育的ニーズに応じた指導・支援・配慮 相談支援体制について
3 (1) イ 動画を広報に使用する（ショート動画という表現の記載）
4 働き方改革について (1) ア 年間の時間外在校等時間 の記載

質問（須藤委員） 働き方改革について、時間削減が目標だが教員増員はあるのか？

⇒予定なし（校長）

- ・上からの代替策 保護者連絡について（一斉連絡の方法の新設）
 - ・部活動の時間削減の制度について（まだまだ障壁あり）
 - ・文科省が業務のカテゴリー（3種）を仕分けた
- いずれにせよ、実態は変わっていない。

（久保田委員）改革や制度が変わることによって、生徒の感じ方に変化はあるのか？

⇒府立高校の時間外在校等時間の数値の公表について（校長）

（西村委員）海外姉妹校締結（ニュージーランド）は、毎年、固定の学校か？

⇒毎年、同一の学校（校長）

（久保田委員）「校長が提示した内容で承認するということによろしいか」

特にご意見もなく、「承認」されたものと認められる。

5 諸連絡

次回（令和8年5月下旬）の予定確認

6 校長「閉会」の挨拶